

M & A における無形資産評価 (エクセルによる計算事例解説を含む)

ます や かつ え つ

講師 **枘谷克悦氏** 東京M&Aサービス株式会社 取締役 公認会計士

日時 2022年7月29(金) 午後1時00分~午後5時00分

■このセミナーは Zoom でご受講いただけます。お申し込み後に詳細をメールでお送りします。
■当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できます(開催前のお申し込みが必要です)。

企業会計基準や国際会計基準によってM&Aに伴う無形資産の評価と資産計上が要求されています。また、無形資産の評価は「のれん」の計上額にも影響を及ぼします。

上記無形資産の評価によっては買収企業のその後の損益や採算に重要な影響を及ぼす可能性が出てきます。そのため近年ではM&Aの意思決定段階に於いても、無形資産の予備的評価はM&Aにとっては重要な調査手続とも考えられています。

今回のセミナーでは無形資産の評価について、主要な評価方法の概要、企業評価との違い、各種無形資産の評価の特徴、評価上の要点について考察し、詳細に体系的に解説します。

また、無形資産評価と「のれん」の関係を買収価額の配分手続(PPA)を通して、他の資産と体系的に説明し、無形資産や「のれん」の会計処理も含め、計算事例を通して解り易く具体的に解説します。

本セミナーでは以下の内容にしたがって講義します。

- ・ 無形資産の定義、認識規準、種類、企業評価との違い
- ・ 無形資産の評価方法(超過収益法、ロイヤルティー免除法、利益差分法、利益分割法、売買取引比較法、複製又は再調達原価法、)
- ・ 無形資産価値の算定プロセスと計算構造(超過収益法、ロイヤルティー免除法)
- ・ 各種無形資産の評価(マーケティング関連、顧客関連、技術関連、契約関連、芸術関連、人的資産)
- ・ 無形資産の評価に有用な事業計画
- ・ 無形資産に於ける割引率とWARA、WACCの調整、キャピタルチャージとの一体関係
- ・ 無形資産評価に於ける留意事項(ロイヤリティ料率、キャピタルチャージ、節税メリット、無形資産の耐用年数)
- ・ 買収価額の配分手続(PPA)の仕組み、PPAに於ける「のれん」の取扱い

一方エクセルを使って、M&Aによる取引事例を題材として、①先ず事業計画がPPA目的に利用可能かどうか検討し、②次に代表的な無形資産(商標、特許、顧客関係、人的資産)の標準的な評価プロセス、評価上の特徴や要点を解説します。③次に、買収対象資産に含まれる各種無形資産に関する収益予測、減価率、キャピタルチャージ、割引率等の評価上重要な項目についてエクセルによる計算事例で個別的に評価の特徴を解説します。④更に、無形資産評価における割引率、WACC、WARA、キャピタルチャージの全体的な相互関連を具体的な数値で例示、算出します。⑤また、有形資産、負債のDD修正や時価修正も反映させた上で最終的に算出される「のれん」の算定プロセス(PPA)をエクセルによって解説し、会計処理も示します。

本セミナーでは教材として「PDFファイル」と「エクセル・ファイル」が提供されます。

受講にあたっては、講義受講用のパソコン(オンライン)の他に、もう一台のパソコン(オフライン)を準備していただき、そこに「PDFファイル」と「エクセル・ファイル」をインストールして、これを見ながら受講されますといっそう理解が進みます。

講師経歴 1971年3月東北大学経済学部卒業、同年4月外務省入省、1972年4月総理府転属、1974年等松青木監査法人(現、有限責任監査法人トーマツ)入社、以後1995年まで監査部門勤務、その間、米国シアトル市、英国ロンドン市のデロイト・トウシュ会計事務所等に各4年間出向、多くのM&A案件にも携わる。1996年よりコーポレートファイナンス部門(現、デロイト・トーマツ ファイナンシャル・アドバイザリー合同会社)に転属、デューデリジェンス、企業評価、M&Aアドバイザリー業務に従事、特に企業評価に関する業務を担当し、2012年9月同法人を退職、企業評価等に関連したコンサルティング業務を開業、2015年11月東京M&Aサービス株式会社を設立、現在に至る。

専門分野: M&A取引に関連した株式評価、事業評価、TOB、MBOに関連する評価、デリバティブ(優先株式、転換社債、ストックオプション等)、組織再編(合併、株式交換、会社分割)に伴う各種比率算定、無形資産、有形資産の公正価値評価、パーチェスプライスアロケーション(PPA)、訴訟関連の評価。その他M&A関連業務として海外、国内のM&A案件に関するコンサルティング、財務デューデリジェンス、アドバイザリー。

主な著書: 「税務コンサルタントポケットブック」中央経済社、「海外進出実務ハンドブック」共著 清文社、「M&A実践のノウハウ」共著 東京経済情報出版、「M&Aの企業価値評価」共著 中央経済社、「企業再編」共著 清文社、「M&A無形資産評価の実務」共著 清文社、「企業価値評価の実務(新版)」清文社。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

主催 **金融財務研究会**
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter: <https://twitter.com/keichoken05>
Blog: <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2022年7月29日(金)
13:00~17:00

本セミナーはZoomで開催いたします。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。(開催前のお申し込みが必要です)。後日配信をご希望の場合は、申込書質問欄のチェックボックスにチェックを入れてください。原則として、参加費をお振込みいただいた後に、メールで詳細をお送りいたします。

参加費

1名につき35,000円(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき30,000円になります。追加申込みの場合はその旨をご記入下さい。

申込先

金融財務研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-10-8 グリンヒルビル
TEL 03-5651-2030 FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書をFAX又は郵送いただいておりますお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加になれない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および金融財務研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお願いたします。)

ご記入いただきました個人情報セミナーの開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

普通預金 口座名 (株)金融財務研究会

三菱UFJ銀行	本店	1642356	三井住友銀行	本店営業部	7397637
三菱UFJ信託銀行	本店	2818151	みずほ銀行	東京営業部	1427715
三井住友信託銀行	本店営業部	2993982	りそな銀行	東京営業部	1693669

◇クレジットカードはVisa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discoverがご利用いただけます。

----- 切らずにこのままお送り下さい -----

FAX 03-5695-8005

M&Aにおける無形資産評価

【Zoom】 7/29

参加申込書

2022年 月 日

受講方法 <input type="checkbox"/> LIVE配信 <input type="checkbox"/> 後日配信 弊社からのお知らせ、メルマガの送信を <input type="checkbox"/> 受信する <input type="checkbox"/> 受信しない クレジットカードをご利用の場合は下記に✓を入れて下さい。 <input type="checkbox"/> クレジットカード利用 *セミナーコード* 1405 (Law-k221405)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX		

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。